

令和4年度 袋井特別支援学校磐田見付分校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年10月12日(水) 午前10時から11時30分まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議委員A、運営協議委員B、運営協議委員C、運営協議委員D、  
運営協議委員E

(2) 本校職員

校長、副校長、部主事、教務課長、進路指導課長

4 議事

(1) 開会 (校長)

- ・自然災害が磐田市でも起こっている。自分の命は自分で守ることを学ぶと同時に、誰かのために動ける生徒を育てていきたい。
- ・特別支援教育(冊子) 小・中でも特別支援教育を進めている。

(2) 報告事項

学校経営、学部経営の進捗状況について (副校長・部主事)

学校経営書に基づき説明

- ・有事への対応力をつけるために、全生徒の居住地を地図上に示したり、バス路線図等に登校時間を記したりすることで、現状把握を行っている。今後は、生徒が危険個所を意識できるよう指導していく。
- ・生徒が運動器具の正しい使い方が分かり、安全に扱うことができるようになるため、体育の授業において事故の多いマット運動の際の準備や片付け時の注意点を指導した。ケガ人は出ず安全に取り組んでいる。
- ・磐田北高との行事(さみどり祭、体育大会)や交流、磐田新造形創造館での作業製品販売の場所を映像等で示すことで、学校や地域との交流の一例を共有した。
- ・学部として目指す生徒像「最後までやり抜く気力と体力を身につけた高校生」等についての進捗状況について説明をした。
- ・今年度、新しく取り組んでいる学校生活評価表(生活全般・作業的な面のスキルを示し、評価する表)の説明をした。

イ) 御意見や御質問(・)とそれぞれに対する回答(⇒)

運営協議委員B

- ・学校生活評価表を提示して、生徒・保護者に何か変化はあったか。  
⇒指標が示され自分を分析するきっかけとなったと感じる。成果は現時点では、はっきり分析をしていないので不明だが、今後、各学年で面談での様子を集約し、今後  
に生かしていきたい。
- ・自己理解の学びはとても大切。慣れてくると項目に目が行くだけになる。どのように保護者に投げかけ、共有していくかが大切。

- ・学部で目指す生徒像にせまるための取組の1つである「最後までやり抜く気力と体力を身につけた高校生」について、夏休み中のマラソン実施率において、3年生は18%だったが、なぜか。そして今後どう取り組んでいくか。

⇒3年生については卒業を前にして、自立を目指して自己責任として取り組ませたい部分と、家庭に支援をお願いする部分とのバランスに難しさがあり、数字が伸びなかったのではないか。

#### 運営協議委員C

- ・学校の取組みについて、保護者がどう理解しているかが鍵になってくる。協力を求めるにはアピールが必要。
- ・体育大会の活動を通して個人や集団での北高生との関わりが、今後より深まってくるとよい。
- ・マラソン大会に関連して、走る楽しさを知り、ジュビロマラソンに自らエントリーする生徒がいてもよいのでは。
- ・我々大人は、子どもたちが地域に出て行きたいと思う地域を作る必要がある。

#### 運営協議委員D

- ・まち美化活動については、見付本通りでも行っている。また、みんなに優しい歩道づくりとして、車いすでも通れる歩道、段差のない街にしていきたいと考えている。自転車でも走りやすい街のアンケートを近隣の学校に依頼し実施している。分校の自転車通学の生徒にもアンケート協力を依頼したい。
- ・学校生活評価表の最終目標は、「自分が」どれくらいできているという評価だけではなく、「周囲から」どう見られているのか、客観的に分析できることも大切。保護者と差異がないようにできるとさらによい。

#### 運営協議委員E

- ・マラソンチャレンジについて、娘は学校では、みんないるから頑張れていると思う家では一人なので休もうとしてしまうため、親が背中を押す必要が出ている。
- ・磐田北高と合同の体育大会での借り人競争が、北高の友達と話をしながら取り組んでいたのが良かった。

#### 運営協議委員A

- ・さみどり祭や体育大会の交流などの様子について、映像がありとても分かりやすい。
- ・磐田新造形創造館での売り上げ分析の資料は、とても分かりやすい。今後の授業の中で使える良い教材となる。
- ・実習先に提示する実習生資料の様式についてのアンケートは、どこの実習先に配付しているか。

⇒1～3年生の2学期の実習先に配付している。

### (3) 協議事項

ア) 見付の丘フェスタについて説明（進路指導課長）

イ) 御意見や御質問（・）とそれぞれに対する回答（⇒）

## 校長

・テラスでの体験と実演のスペースが狭くないか。場所と動線の確保が必要。

⇒場所については検討する。

・小学校・中学校にポスターを配付するか。

⇒配付します。

## 運営協議委員C

・自宅前に掲示板があり、通りに面しているので多くの人に見てもらえることができる。そこに貼ることができる。

## 運営協議委員A

・販売時間を分けるということだが、前半に保護者や卒業生が来たときの対応は。

⇒事前に配付するポスターで周知する。

・100人並んだり、駐車場が満車だったりしたら。

⇒検討します。

・ポスターを生徒が通学している地域に配付しないか。

⇒計画にはありませんでした。

## 校長

・居住地や、出身中学などに配布してはどうか。

⇒・生徒の居住地に配布できるよう、生徒一人一人にポスター等持たせる。

## 運営協議委員C

・コロナウイルス感染症の感染者数も少なくなっており、地域の祭りでも混雑するほど人が出ていた。見付の丘フェスタにおいても多くの人に来るのではないかとと思われる。

## 運営協議委員B

・体調の確認の仕方について

⇒受付を考えている。

・受付では混雑をしてしまうかも。

⇒保護者とか来校する人が分かっている場合は、体温チェック表を配付する。地元の方は受付で検温をする。

## 運営協議委員D

・昨年を見付の丘フェスタに行ったとき、混雑をしているのと、どこに何があるのか分かりづらかった。

・地区の福祉委員にも、見付の丘フェスタをPRしておきます。

## 運営協議委員E

・販売数が少ないとつらいので、頑張ってもらいたい。

## ウ) 共同活動について (副校長)

・自転車マナー向上運動のときに立つ場所は、出たところの交差点でよいか。

⇒北高前の交差点でもよいが、小学校の北側の信号の所でもよい。青になる自転車が頻繁に通る。立つ場所によっては、自転車の邪魔になるので気を付けるように。

### 運営協議委員C

#### エ) 見付交流センター祭りについて (運営協議委員D)

- ・令和4年3月12日に計画していた祭りは、コロナの影響で急遽、作品展示と太鼓に変更した。
- ・おたのしみ券を地域に1万枚配付した。チラシにコロナの体温チェック表の欄を設け、提出すると抽選券となる形式。プレゼントは、伊藤選手&水谷選手の卓球ラケット5本、サインを用意していた。今年度も同様に行っていく。
- ・太鼓は、保護者がたくさん来るので小学校体育館で行った。
- ・ハンドベル演奏をお願いしたい。第7回は、令和5年3月11日(土)予定。

### 運営協議委員C

- ・老人会でのハンドベルの演奏会は、今年も新型コロナウイルス感染症対応で無理とのこと。

#### 校長

- ・コロナになってハンドベルの活躍の場が少なくなった。今年度、1年生の入部はない。外に出て演奏することは、見付分校のハンドベル部があこがれの存在になるチャンスであり、演奏を行っていきたい。

#### 5 閉会 (校長)

- ・具体的な助言ありがとうございました。今後、地域とどんな関係を築いていくか検討していきます。
- ・次回11月12日(土)の学校運営協議会は午前9時50分から11時20分ごろまで。自由参観の形です。よろしくお願いします。